

三小タイムズ

令和3年5月20日発行 校長 辻 久恵

道徳授業（5年2組）

主題名 よりよいきまりとは

教材名 公園のきまりを作ろう

内容項目 C 規則の尊重

本時のねらい

さまざまな人がいる公園の絵をもとに、きまりはどのように作られるか考えさせ、きまりが、個人や集団が安全かつ安心して生活できるようにするためにあることを理解し、それぞれを進んで守っていかうとする実践意欲と態度を育てる。

学習の展開

- 「きまり」について考える。
 - 学校にはどんなきまりがありますか。
 - きまりがあるのに、守れていないことがあります。どうしてだと思いますか。
- 公園の絵を見て話し合う。
 - 公園の絵の中の人、どのような行動をしていますか。その中でどの行動が気になりましたか。
 - ・花壇に入っている。
 - ・ごみをポイ捨てしている。
 - ・ごみの分別をしていない。
 - ・ベンチで寝ている。
 - ・自転車で猛スピードで芝生を横切っている。
 - ・犬のリードをしなくて走っている。
 - ・キャッチボールをしている。
 - 気になったところを解決するためには、どんなきまりが必要だと思いますか。また、そのきまりが必要だと考えた理由も書きましょう。〈ジャムボードを活用してグループで考えを共有〉
 - ・自然を大切にする。⇒できていないから。
 - ・ポイ捨て禁止。⇒汚くなるから。
 - ・ごみは種類別にする⇒困る人がでてくるから。
 - ・ベンチでねっころがらない。⇒座りたい人が座れないから。
 - ・自転車は使わない。⇒周りの人が迷惑だから。
 - ・犬はリードでつなぐ。⇒花壇を壊すから。
 - ・人がいるところではキャッチボールはしない。⇒危険だから。
 - きまりをつくる時、どんな思いを大切にしていますか。共通している思いは何ですか。
 - ・困る人がでてこないようにする。 ・周りの人のことも考える。
 - きまりをつくる時、どんなことを大事にしていきたいと考えましたか。
 - ・みんなが楽しい、気持ちいいと思えること。 ・多すぎると不便。
- 学習を振る。

